

# 福井市並行在来線新駅設置候補地検討会議報告書概要

## 1 検討会議

	月 日	検討内容
第1回	令和4年 6月30日	現場視察および検討視点・市民アンケート調査内容
第2回	令和4年 8月24日	市民アンケート調査結果
第3回	令和4年 10月25日	候補地の検討項目の比較
第4回	令和4年 11月24日	検討会議報告書(案)

## 2 検討委員

委員長:川本 義海 (福井大学 学術研究院工学系部門教授 博士(工学))

区分	人数	備考
学識経験者	3名	川本委員長を含む
交通事業者	3名	
利用者	2名	

## 3 候補地の主な評価項目

### (1) 1日当たりの利用者数

【 】内の数字は新規利用者、( )内の数字は対開業1年目比

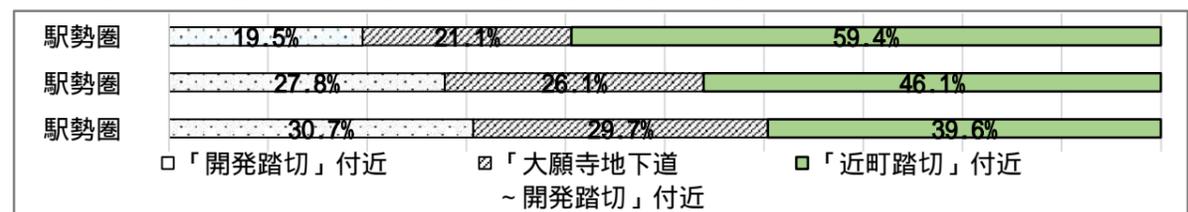
検討項目	「開発踏切」付近	「大願寺地下道 ～開発踏切」付近	「近町踏切」付近
利用者数			○
開業1年目	806人【674人】	872人【704人】	938人【634人】
開業10年目	720人【608人】 ( 10.7%)	792人【638人】 ( 9.2%)	864人【580人】 ( 7.9%)
開業30年目	574人【490人】 ( 28.6%)	656人【524人】 ( 24.8%)	744人【482人】 ( 20.7%)
開業50年目	434人【378人】 ( 46.2%)	524人【416人】 ( 39.9%)	636人【394人】 ( 32.2%)

### (2) 候補地沿線居住者の利用意向

「森田・福井駅間の「新駅」設置に関するアンケート調査」より(令和4年7月実施)

検討項目	「開発踏切」付近	「大願寺地下道 ～開発踏切」付近	「近町踏切」付近
利用意向			○

<グラフ> 新駅を「利用する」と回答した方が選んだ駅



### (3) 費用便益比

事業で得られる効果を貨幣換算した「便益」を投資額等の「費用」で除した値。

1を超えると「便益」が「費用」を上回る。

検討項目	「開発踏切」付近	「大願寺地下道 ～開発踏切」付近	「近町踏切」付近
費用便益比	○	○	○
開業後30年	1.05	1.09	1.11
開業後50年	1.05	1.11	1.14

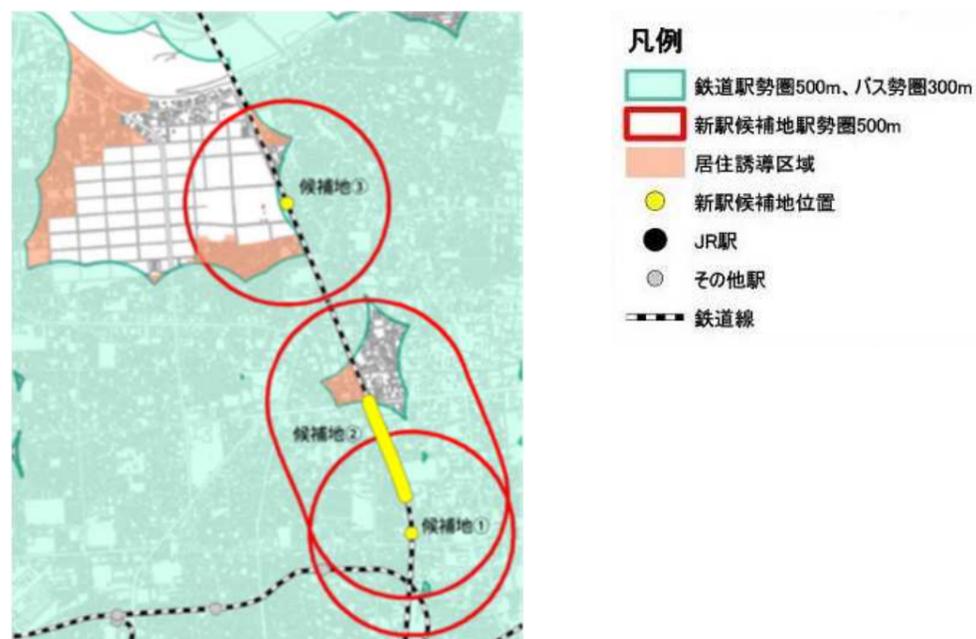
### (4) 他の公共交通機関への影響

「えちぜん鉄道への影響」は、利用者アンケートを基に検討

「公共交通空白地の改善」は、下記の<図>を基に検討

検討項目	「開発踏切」 付近	「大願寺地下道～ 開発踏切」付近	「近町踏切」 付近
えちぜん鉄道への影響			○
公共交通空白地の改善		○	○

<図> 候補地周辺の公共交通空白地



(5) 近隣住環境への影響 候補地周辺の現状を基に検討

検討項目	「開発踏切」付近	「大願寺地下道 ～開発踏切」付近	「近町踏切」付近
アクセス性			○
住環境への影響			○

< 候補地 付近 >



< 候補地 付近 >



< 候補地 付近 >



(6) 将来的なまちづくりの可能性 候補地周辺の現状を基に検討

検討項目	「開発踏切」付近	「大願寺地下道 ～開発踏切」付近	「近町踏切」付近
将来のまちづくり			○

候補地、及び候補地 付近は既成市街地であり、新たな開発は見込めない。一方で候補地 は、市街化調整区域であり、法的制約はあるが民間による開発の余地がある。

< 候補地 付近 >



< 候補地 付近 >



< 候補地 付近 >



赤線は、技術的に駅を設置可能な箇所

4 総合評価

(1) 総論

検討項目ごとに各候補地の比較検討を行ったところ、各候補地の評価結果に大きな差はなかった。

ただし、候補地 「近町踏切」付近は、「利用者数」、「利用意向」、「公共交通空白地の改善」、「アクセス性」、「住環境への影響」、及び「将来のまちづくり」の6項目で優位性が認められ、総合評価が高くなった。以上のことから、候補地 「近町踏切」付近が新駅設置場所に適している。

検討項目	「開発踏切」付近	「大願寺地下道 ～開発踏切」付近	「近町踏切」付近
(1) 利用者数			
利用者数			○
駅勢圏人口	○	○	○
(2) 候補地沿線居住者の利用意向とその条件			
利用意向			○
パーク＆ライド駐車場整備	○		
(3) 収益性			
収益額	○	○	○
費用便益比	○	○	○
(4) 他の公共交通機関への影響			
えちぜん鉄道への影響	○	○	○
公共交通空白地の改善		○	○
(5) 住環境・地域の魅力や活力など			
アクセス性			○
住環境への影響			○
(6) 将来的なまちづくりの可能性			
上位計画との整合性			
将来のまちづくり			○
総合評価	○	○	

(2) 付帯意見

- ・交通量が増加傾向にある都市計画道路高木灯明寺線について、新駅設置に伴い更なる増加が見込まれることから、先行して整備を進めること。
- ・市民から新駅利用に必要な取組として求められている、パーク＆ライド駐車場の整備について検討すること。
- ・駅周辺のまちづくりとの連携について検討すること。